

まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

野外活動指導者養成セミナー in 屋久島 ～自然と人の営みがつながるあり方を探求する4日間～

野外活動に携わる方、これから携わりたい方はもちろん、ガイドや保育士、学生、自然の中で人と関わるすべての人に向けたセミナーです。4日間のセミナーに参加することで、NEALリーダー、キャンプインストラクターの2つの資格を効率よく取得できる構成になっています。今回は、世界の環境トレンドである「ネイチャーポジティブ(自然再興)」をキーワードに自然と人の共生を目指す在り方を探求し学びあう4日間を過ごします。

実施日	令和6年1月23日(火)～1月26日(金) 3泊4日
対象者	高校生以上
募集人員	15名
参加費	24,000円(宿泊費、食事代、保険料など含む)
習得可能資格	NEALリーダー(全国体験活動指導者認定委員会) キャンプインストラクター(公益財団法人日本キャンプ協会)
共催	屋久島アウトドアガイド島結
申込み・詳細については、財団ホームページをご覧ください。	

日本赤十字救急法基礎講演会

事故防止の知識や応急手当の技術習得を目指す方を対象に日本赤十字社による講演会を以下のとおり開催します。

期日: 令和6年1月24日(水)～26日(金)

時間: 午前9時から午後5時30分まで

参加費: 一般 6,000円

申込方法: グーグルフォーム(右記のQRコード参照)よりお申し込みください。

備考: 詳細については、ホームページをご覧ください。



メンテナンス休館のお知らせ

屋久島環境文化村センター(宮之浦)は、施設内機材等のメンテナンスのため下記の日程で休館いたします。

ご迷惑おかけいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和6年1月14日(日)～1月22日(月)

インストラクター便り

「人慣れ」

インストラクター 小松 純哉(チャド)

先日、世界自然遺産の視察で「知床ウトロ」を訪れました。知床は「流氷が育む豊かな海洋生態系と原始性の高い陸生生態系の相互関係」「世界的な希少種や魚類・哺乳類等の重要な生息地を有すること」等が評価され、2005年に世界自然遺産に登録されました。

屋久島でヤクシマザルなどの野生生物と共存を目指すように、知床でも電気柵の設置や情報発信の普及、誘引物除去などの対策を講じながらヒグマとの距離を大切にしています。しかし、今年ヒグマの市街地への出没回数が過去11年で最も多くなったことが問題視されています。

この問題にはいくつかの理由がありますが、その一つに「人慣れ」が挙げられます。知床では近くで写真を撮りたいカメラマンや興味本位で餌を与えようとする観光客が確認されています。そして、その行動が原因で人の存在や人の食べ物に慣れてしまったヒグマが人間の生活圏に出没し、人命を守るためにやむを得なく射殺されることがあります。このようなことが「問題グマ」としてメディアに取り上げられることから、ヒグマは人を襲う生き物だと感じている人が多いようですが、実は基本的にはおとなしい性格で人を食べるために襲い掛かることはほとんどありません。

では、警戒心が強いヒグマが人を襲ってしまうのは何故でしょうか？エサを求めて市街地にやってくるのは何故でしょうか？私はこの問題の本質に「人と野生生物の共存」に対する本当の答えがあると感じています。



参考:

○知床世界遺産センター (<http://shiretoko-whcc.env.go.jp/>)

○知床財団

(<https://www.shiretoko.or.jp/higumanokoto/higuma/higuma2/>)

交流ホール展示案内

屋久島世界遺産センターや関係行政機関などが、屋久島世界自然遺産登録を記念して行った絵画コンクールの受賞作品を展示します。

屋久島町内の小・中学生が応募した276点の中から、最優秀賞3点、優秀賞6点、佳作15点が選ばれました。

屋久島・口永良部島の豊かな自然が描かれた作品となっていますので、この機会に是非お越しください。



展示期間

令和5年12月16日(土)～

12月26日(火)

※展示期間は変更になることがあります。

屋久島を想う

総務企画課 主事 村口 怜弥

私は鹿児島県本土出身だが、大学時代は北海道網走にて4年間生活していた。

屋久島に赴任してから、同じ豊かな土地であっても場所ごとに自然の美しさは異なることを感じた。

北海道には広大な土地による解放感や、辺り一面が雪に覆われる景色の美しさがあり、屋久島には草木の緑の濃さや、明かりが少ないことによる夜の星空の美しさがある。

自然の美しさの中でも、「普段の生活の中での夜」の違いが私の中では印象的だ。北海道では、辺り一面の雪景色に月明りや外灯の光が反射することで、空の星々へ光を放っているように感じた。屋久島では、夜は外灯などの灯りが少なく、空だけでなく山々の陰により月明りも遮られるが、暗さがある分、星々は空に濃く光輝いているように感じた。

縄文杉などインパクトの強いものだけでなく、普段の生活を通して「屋久島の固有の自然」を感じていきたい。



【12月・1月の休館日】

村センター・研修センター共通 12月:4日(月)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・28日(木)～31日(日)

村センター 1月:1日(月)・9日(火)・メンテナンス休館14日(日)～22日(月)・29日(月)

研修センター 1月:1日(月)～3日(水)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)